

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年3月26日
認定こども園青葉幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・健康で心身ともにたくましい元気な子
- ・一人立ちができ、きまりを守れて迷惑をかけない子
- ・美しいものにふれ、創ることを悦ぶ情操豊かな子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

一人一人の子供に寄り添った質の高い教育の実践を目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	幼児教育の内容・質の向上	A	学年を問わず子ども達の様子を教職員同士で共有し、子ども達が安心して活動できる体制を整えた。また、コロナ禍で自粛していたお泊り保育やキッズシアへの園外保育等の行事も再開することができた。鍵盤ハーモニカの指導では、プロのピアニカ奏者の妹尾先生による定期指導を実践した。
2	幼児教育を担う人材の育成・専門性の向上	A	教育の質の向上のため、コロナ禍で自粛していた鹿児島県の通山保育園でのヨコミネ式研修を再開、福岡の白水学園くすの木幼稚園の発表会、鹿児島の伊崎田こども園の運動会を見学するなど園外の研修も積極的に行った。園内でも八田先生の研修やリモート研修、発達支援施設オレンジスパークでの研修を実施し、保育に活かすことができた。
3	家庭・地域における幼児教育の支援	A	地域の子育て世帯の支援のため、0～2歳児向け「さくらんぼ」を開設し、認定インストラクターの研修を受けた教職員によるマタニティヨガやベビーヨガ、読み聞かせ、リトミックや育児相談等を無償で提供した。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	目標・計画を職員一同で確認し、継続して自己評価に取り組むことで、日々の保育における課題も見つかった。今後もよりよい園となるために、職員一人一人が探求意識を高めていくことを確認した。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	幼児教育の内容・質の向上	子供達の様子を教職員同士で共有し、報告・連絡・相談は密に行う。コロナ禍で自粛していた青葉祭について、状況を鑑みながら再開計画を検討する。
2	幼児教育を担う人材の育成・専門性の向上	教育・保育の質の向上のため、鹿児島県の通山保育園でのヨコミネ式研修や他施設での研修など、園内・園外研修を計画・実施する。
3	家庭・地域における幼児教育の支援	0～2歳の未就園児向け「さくらんぼ」の内容をより充実させ、地域の子育て世帯と交流できる活動を計画・実施する。

6. 評議員会の評価

新型コロナウイルス感染症も5類へ移行し、お泊り保育等の行事も復活することができた。発表会では、プロの鍵盤ハーモニカ奏者である妹尾先生の指導の成果が表れていて、とても素晴らしい演奏でした。感染症に十分に留意しながら、一人ひとりの子供へ寄り添い、子供達のために尽力していたことを評価する。

R5. 6.30 妹尾さん指導

小ホールチーム

ビートイット…前奏部分のパートを増やす+指使い指導。

休符部分を休みをカウントし、「れふぁ」部分に重みを持った音にするため体で表現する。
(重い荷物をもつ真似をする)

りんご

アジアの純真…音が途切れてしまう部分の練習。

次の音を押す前に指を離してしまうので、歩くように押す。

充電したまま、指を動かし口は「トォー」という。

息は風船を膨らませるように、息継ぎなしで。

みかん

指が反ってしまい動かしづらいグループには指の体操を行い、丸い手、指の先で鍵盤が押せるよう練習していく。

お腹と机の距離を離す。

同じ音が途切れてしまうので指を押したまま「トォー トォー」と息を繋げる。

息で妹尾さんを押すイメージ。

ぶどう

トライエブリシング

前奏のリズムに合わせた吹き方の練習。

リズムをホワイトボードに丸や四角で表し、実際に吹いてみる方法が伝わりやすかった。

伴奏くんのリズムだけの音に合わせてやると、より良い。

全体

吹き口は全部を口に入れなくて、先を(黒部分)軽く加えるようにする。

指が反ってしまい動かしづらいグループには指の体操を行い、丸い手、指の先で鍵盤が押せるよう練習していく。

ビートイット…休符を明確にするとメリハリがつかっこよく仕上がる。

サビのコーラスを部分をパートに加える(少人数)

最後のリズムのリズムを変更すると終わったように聞こえるので変更する。

キセキ…1 オクターブ上で演奏する。

令和5年9月29日妹尾さん指導

メロン

・アジアの純真…最後のフレーズの指導。最後の音は華やかな音、明るい音になるようにイメージして音を出す。歌詞を実際に歌い、3音それぞれの音量を調節する意識を持たせる。息の強さを手で表現する。その息を妹尾さんに届ける。

「開けドア」のフレーズの途中でブレスをしてしまう。実際に歌い、息継ぎしていないことに気づくよう促す。息を入れっぱなしにすることを伝えてくれた。

・キセキ…前奏のピアノに合わせるように優しい気持ちで演奏する。最初の音はあらかじめ指を押した状態にしておき、息を入れると良い。(息と指のタイミングをずらす)

りんご

・机と椅子の間隔を空ける。(お腹が机と近すぎる)

・せかいがひとつになるまで…指くぐりの練習 最初はゆっくり練習→スピードアップする。ブレスの位置を確認。休符の部分も意識すると音が揃えられる。指くぐり、指またぎ、黒鍵が続くフレーズは繰り返し練習が必要。

みかん

・キセキ…レガート(一息で吹く)の練習 歌詞を歌う。→ハミングで歌う→トゥーと口で言いながら指を動かす。

中だるみしてしまうので、りんごチームとミックスするのはどうか。

ぶどう

・ビートイット…サビの伸びが足りないなので、手を前に押し出し音を伸ばすイメージを意識させる。スピードが80だったが、120まであげた。子供たちを沢山褒めて下さり、スピードアップして弾いてみたいという意欲を引き出してくれた。

全体

・アジアの純真…Aメロ1回目は通常の音程で、繰り返しの2回目は1オクターブ高い音程で演奏するパートに分かれて吹くと聴いている人を驚かせることができる。

「流れ出たら」の部分は一息で吹く。その後の「アジア」は音は下がるが気持ちは明るい音を出す。

・イツマイライフ…前奏は足踏みで音を鳴らすとカッコいい演出になるのではないかとサビ途中のコーラスを実際に歌ってみるのはどうか。

R5年11月13日妹尾さん指導

今回は発表会のグループに分かれて(2グループずつ)3曲ずつ指導して頂いた。

- ・トライエブリシング…柔らかい雰囲気の色でとても良かったと褒めて頂いた。
- ・ビートイット…トライエブリシングの曲と同じような音色だったため、『この曲はどんなイメージで吹こうか、皆が考えるかっこいい人はどんな人?』と子供たちが考えられるよう声掛けをしてくれた。表情(特に目)や佇まいをビートイットに合うように切り替える。
出だしの『れ』の音を合わせる練習。
サビのオクターブ高く弾くパートの人はそこだけ吹くと良い。また、高音は強く吹くと叫んでいるように聞こえてしまう。このパートはコーラスなので歌うように吹き、最後の音は伸ばす。
音を合わせて吹くためには隣の人の音を聴くことを意識する。
最後の振り付けが間延びしているのを、変更すると良い。
- ・せかいがひとつになるまで…Aメロをパート分けすると良い。Bメロは後半にかけてクレッシェンドするように吹く。
- ・イツマイライフ…最後のフレーズの振りは横向きにするとエビぞりのようになりかっこいい。拍を意識させるとメリハリがつく。
- ・キセキ…1曲前のイツマイライフの勢いが残ったまま吹いてしまっているのを、『優しい音色』に切り替える。『柔らかい音』≠『弱々しい音』ので息の入れ方を意識する。
◇はオクターブ上とパート別にしてはいたが、同じ音域で吹き、★マークからパートを分ける。
- ・アジアの純真…サビ部分をパート別にする。また振り付けを変更する。
- ・ソロの子について…隣の人の音を心の中で歌って自分の番に備える。息の入れ方が強めな子は隣の子に音量を合わせることを意識させる。同じ音を拭く時タンギングをする。
- ・全体…鍵盤のデコレーション部分を見せる振り付けが多かったのをバランスをみて決める。鍵盤を上下にしたり、まわす等バリエーションを増やすと観ている人も楽しめる。客席に降りて吹いても良いのではないか。
曲によって音色を変えるよう意識できる声掛けをする。

R5年12月11日妹尾さん指導

3 グループのレベル別指導

① ビートイット…前奏の指使いの確認。指だけ歌いながら動かす。

$\overset{1}{ら} \rightarrow \overset{4}{ふあ}$ の部分は4番指を外してしまいがちなので『大切なものを置く』イメージ、音が跳ねない、確実にとらえるよう気配りをする。

また頭の中で歌いながら行うと良い。

指くぐりの際は親指の側面を使うように押すとスムーズにできる。

② キセキ…部分的に演奏するグループなので、他パートと合流するときの最初の音をはっきり出すようにいしきする。なんとなく演奏し始めない。

フレーズの中でクレッシェンドとデクレッシェンドが聞こえるように、息の量を調節する。

1音目で息を入れ過ぎず、細く入れていく。音の大きさを絵に書いて(○の大きさを表す)子供達に見せると伝わりやすかった。実際に吹く前に歌って、声量の調節もした。

息が続かず途中で息を吸ってしまうので、それは行わないように注意する。

1フレーズの最後の音が雑にならないようどのくらい伸ばすのかを確認した。

③ キセキ…音は暗譜で吹けるので、音に気持ちを乗せられるように指導してくれた。

タンギングで吹いてしまうので、音と音が繋がるように演奏する練習。

子供は息を長く吹く。大人が指で鍵盤を2音押す。1音で息継ぎしてしまうので、息を入れたままにする練習を行った。視覚が優位なので指が動くタイミングで息を吸ってしまう。目をつぶって行うと良いとのこと。

ソロパート…その子によって息継ぎの場所が違っていたので統一する。一人ずつの練習だけでなく同じパート部分の子供同士で演奏し合うことも行う。

全体…曲ごとに音色を変えられるように意識して取り組む。

R6.1.18 妹尾さん指導

午前中は幼稚園にて発表会の午前午後に分かれてプレイグラウンドにて指導してもらった。
午後はどりーむホールにて子供の音とマイクや音響とのバランス調整をしてもらった。

トライエブリシング

- ・前奏のフレーズのリズムの指導。メトロノームを使って、手拍子やリズムを歌う。
その後演奏した。また、そのフレーズの最後の音を伸ばす。

せかいがひとつになるまで

- ・ベース音を弾くグループは音と音が途切れないように繋げて演奏する。

ビートイット

- ・前奏の高い音(ふぁ)の息の量が少ないのでその音に向かって段々と音を大きくしていく

イメージで演奏する。息の量は⁵れー ⁷ふぁ ⁸ら ¹ふぁ ⁰れー くらいで演奏する。

練習方法はメトロノームを使う。

キセキ

- ・全体的に音が転がっている(繋がって聞こえる)のではっきりと演奏する。
- ・4分休符の後の音を特に大事に吹き、音を揃える

アジアの純真

- ・サビのパートに分かれる時の音が弱い。最初の音を大事に演奏する。
立つタイミングを揃える。

全体

- ・拍を感じる練習を行う。伴奏くんのメトロノームを使用して行う。
- ・動きがあるところにメリハリをつけ揃えるようにする。
- ・フレーズの最初の音を意識して、揃えて吹く。
- ・練習がマンネリ化しないよう、練習前の声掛けを大切にする。一曲ごとのテーマを決め演奏する意味やイメージを子どもたちと共有し演奏する。

どりーむホール

- ・音源の音と子供達の演奏の音量を調整してもらった。
- ・ソロのマイクの高さを合わせ、演奏をするときの体の向きを伝えてくれた。